

会員アンケート結果取り纏め

アンケート期間：2024年3月12日～2024年3月28日

アンケート対象：法人会員 132社、個人会員 28名、自治体 16個所、学術 22

回答者数：87件

1. カーボンリサイクルに対する期待について、選択式及び自由回答形式のアンケートを行った。結果概要は図1及びコメントのとおり。

① カーボンリサイクルに対する期待

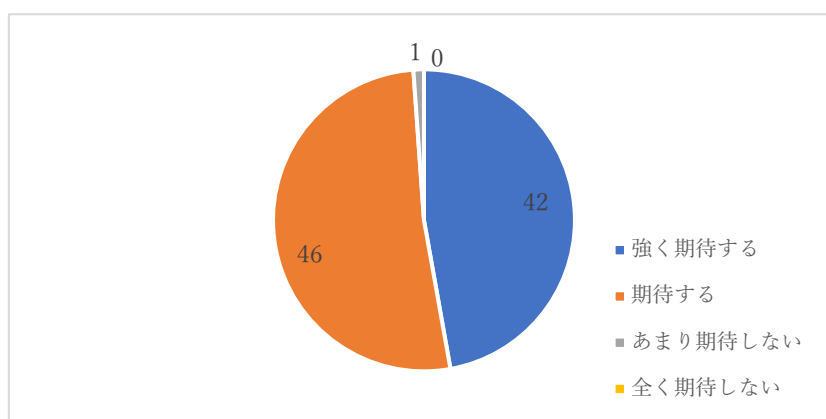


図1 カーボンリサイクルに対する期待について

【主な理由（強く期待する、期待する）】

- ✓ カーボンニュートラルを達成するための必要な手段
- ✓ 新たなビジネス機会/研究開発テーマとなるため
- ✓ 事業においてCO2排出を伴い、カーボンニュートラル達成のためにはカーボンリサイクル技術導入が必要なため

2. カーボンリサイクル領域での役割/立ち位置について選択式のアンケートを行った。結果概要は図2のとおり。

② カーボンリサイクル領域の現在の立ち位置とこれから検討する立ち位置

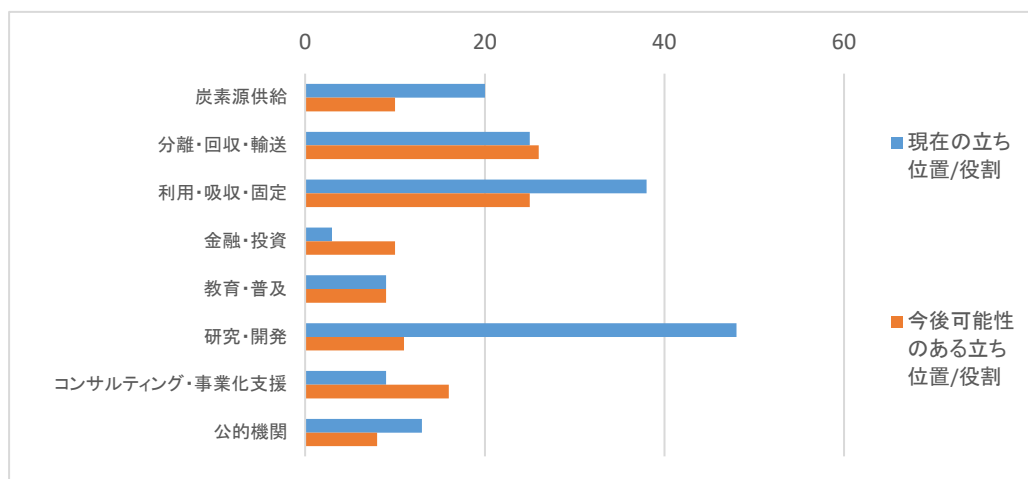


図2 カーボンリサイクル領域での現在の立ち位置/役割について

3. 会員のカーボンニュートラルに向けた中長期目標/計画の策定状況並びに各団体への目標/計画においてカーボンリサイクルの組み込み状況について選択式のアンケートを行った。結果は、図3及び図4のとおり。

① カーボンニュートラルに向けた中長期目標/計画の策定状況

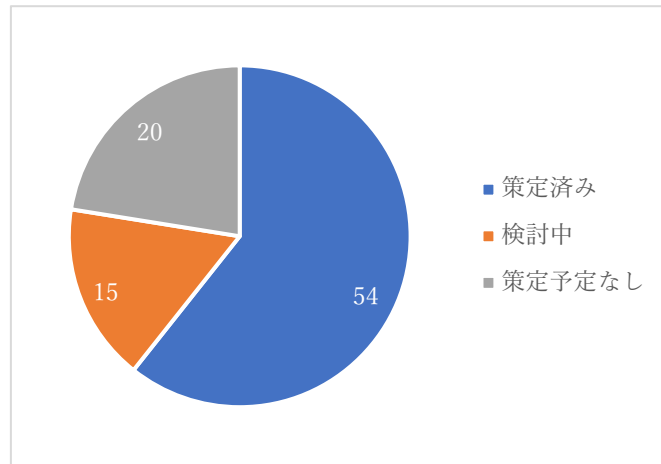


図3 カーボンニュートラルに向けた中長期目標/計画の策定状況

② 各団体の中長期目標/計画におけるカーボンリサイクルの反映状況

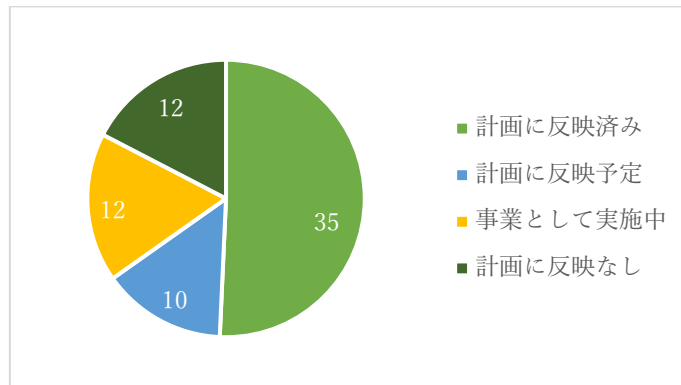


図4 中長期目標/計画におけるカーボンリサイクルの反映状況

4. カーボンリサイクル/カーボンニュートラルに向けた取組みについて、主なステークホルダーからの要請状況の程度を選択式のアンケートを行った。結果は図5のとおり

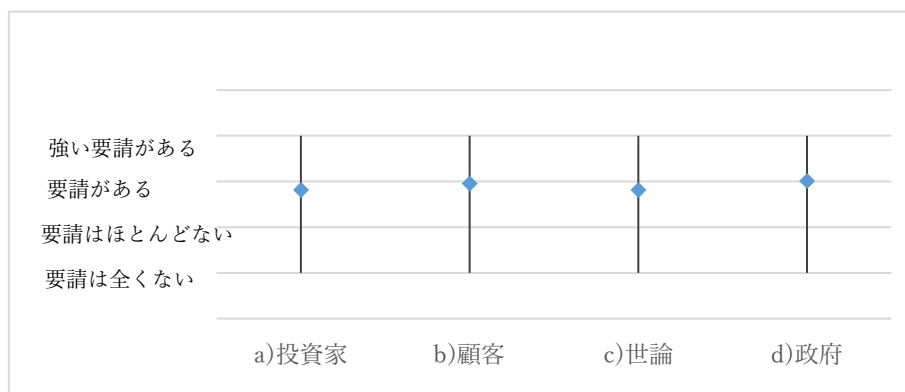


図5 様々なステークホルダーからの CR/CR 取組みの要請状況の程度

5. カーボンリサイクルを促進すると考える政策について複数選択形式（最大 3 つ）のアンケートを行った。結果は図 6 及び主なその理由を示す。

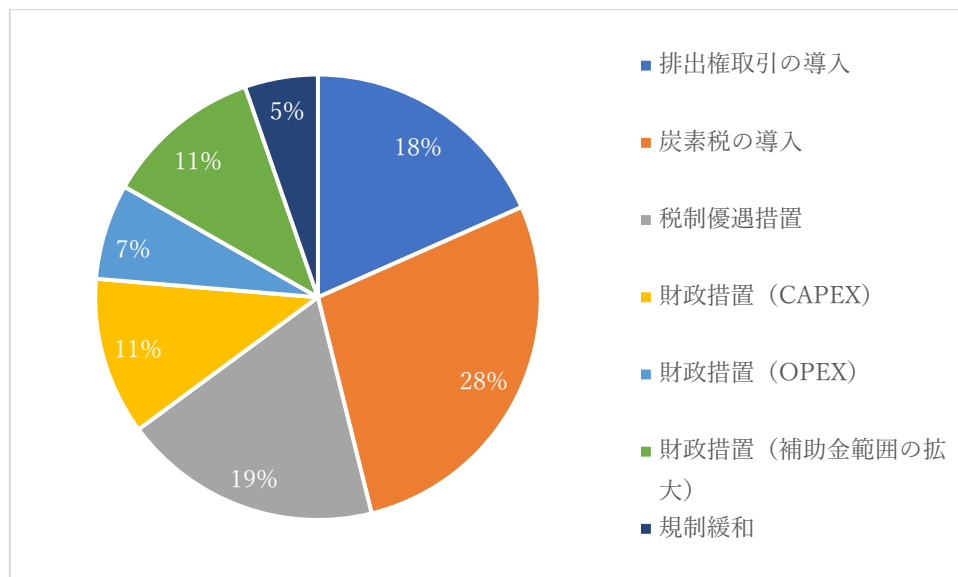


図 6 CR を促進する政策について

<主な理由>

- ✓ 排出権取引や炭素税導入により炭素価値を明確にすることで、CR/CN 取組みが加速される
- ✓ CR 製品と既存製品の価格差を埋める財政支援が必要
- ✓ 導入期～普及期まではコスト増を補填する補助金が必要
- ✓ 補助金の導入により企業が取組みを進めるインセンティブが生まれる
- ✓ CN/CR 対応はコスト増となるため、中小企業への支援が必要

6. カーボンリサイクル技術開発の取り組み状況のアンケートを行った。取り組んでいる技術分野、現在の技術レベル並びに社会実装を考える上での技術面及び社会面について、選択式及び自由記述による。結果を図 7 から図 10 及び主なコメントは以下のとおり

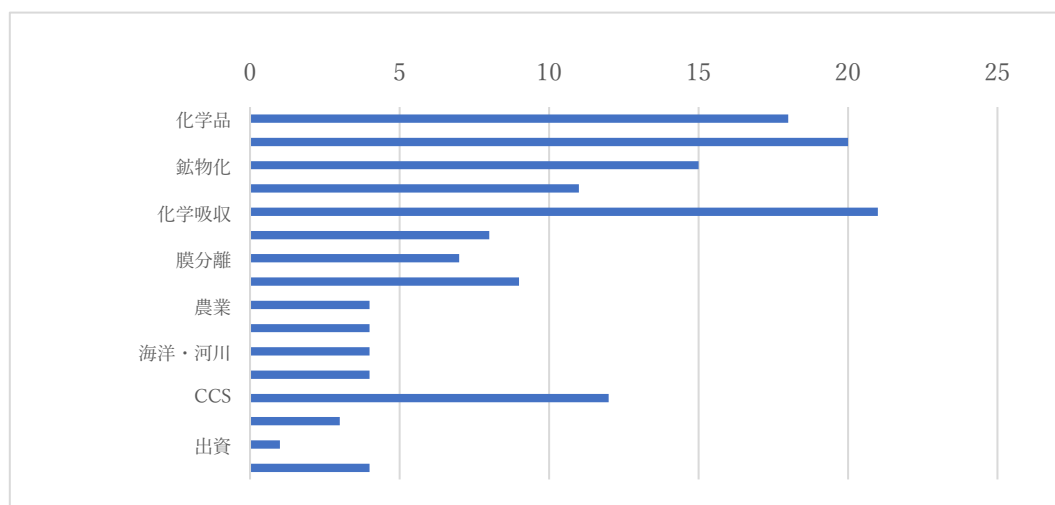


図 7 会員企業の CR 取組み技術分野^{注)}

注) 回答した会員全ての取り組みではなく、主な取り組みのみの回答結果となる

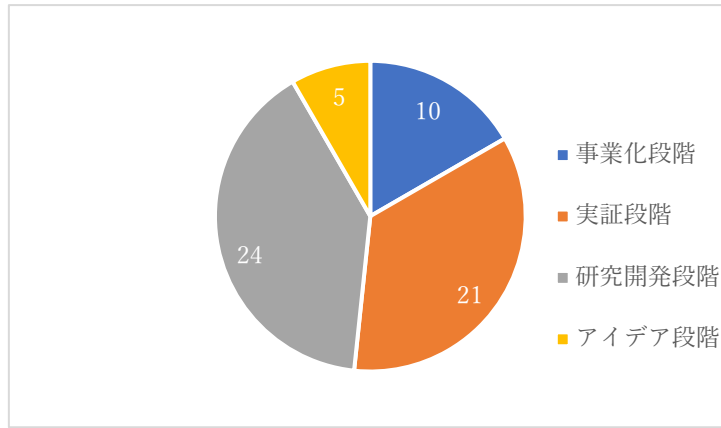


図8 CR 取組み技術の現在のレベル

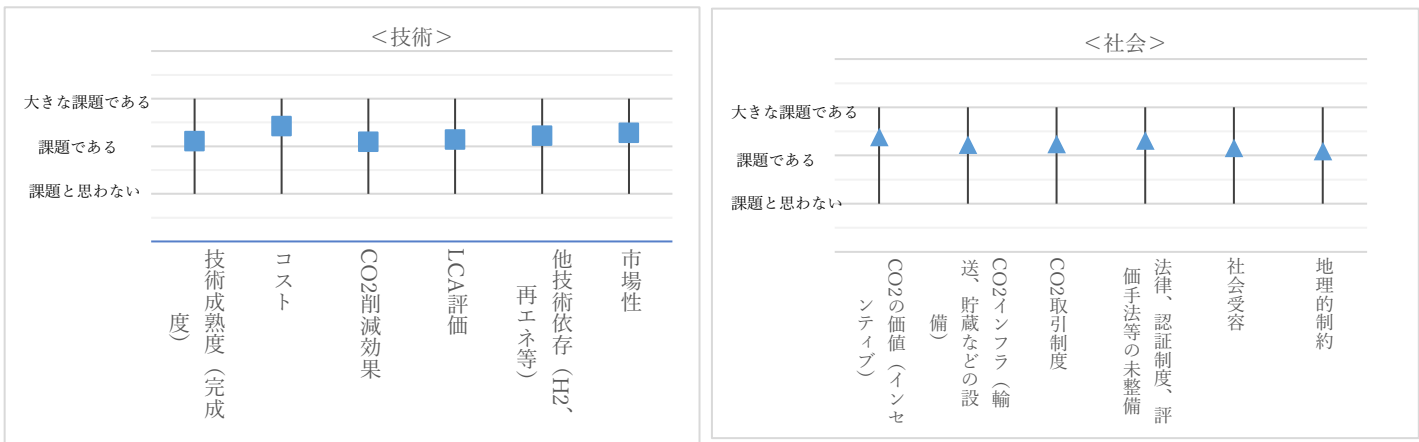


図9,10 CR 技術の社会実装における課題 (図9 技術分野、図10 社会的分野)

<課題に対する主なコメント>

- ・ CR 技術の大規模化はまだ未熟なうえに高コストであることが課題
- ・ CO2 の価値が認められる必要がある
- ・ CO2 コストを受容する社会認知度の醸成が必要
- ・ LCA 評価手法、国際間協業における二国間 CO2 排出カウント制度の整備が必要

7. CR 技術の社会実装における必要な支援について選択形式のアンケートを行った。結果は図 11 及び図 11 以外の内容については記述式で示す。

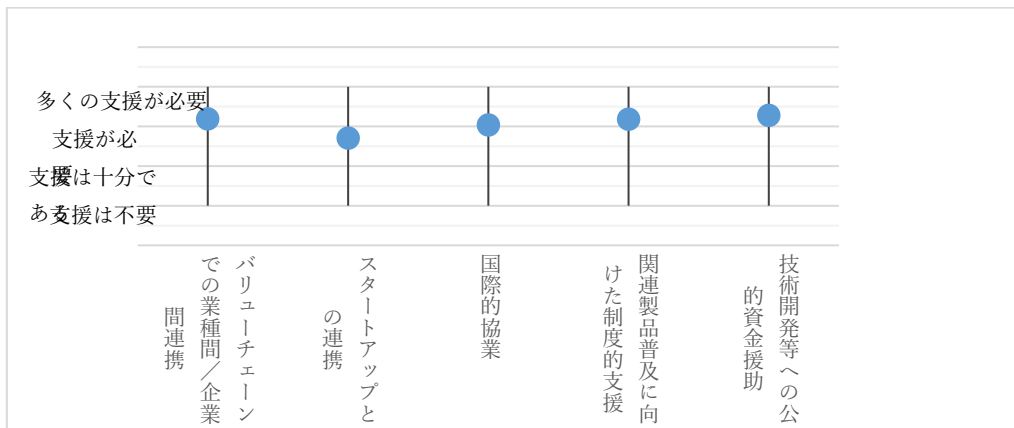


図 11 CR 技術の社会実装における必要な支援

<主な上記以外の支援策>

- ・ 公共調達等による初期需要の創出
- ・ 特許技術に関する国の支援

8. カーボンリサイクル社会実装ワーキングに対する期待について複数選択形式のアンケートを行った。また、検討を希望する自治体についても任意で回答を頂いた。結果を図 12 及び希望している自治体名を示す。

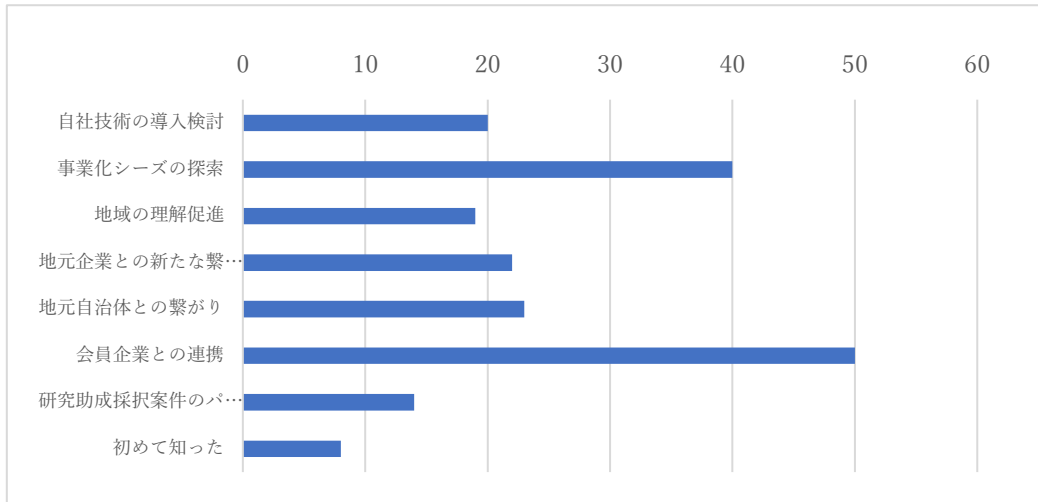


図 12 カーボンリサイクル社会実装ワーキングへの期待（複数回答）

<検討希望の自治体>

- ・ 神戸市
- ・ 静岡県浜松市
- ・ 長崎県
- ・ 秋田県大館市
- ・ 神戸市、加古川市、高砂市

9. カーボンリサイクル分野での国際連携について、海外での取組み実施の有無及びその地域、また海外で取組む理由について選択式のアンケートを行った。結果を図 13～15 に示す。

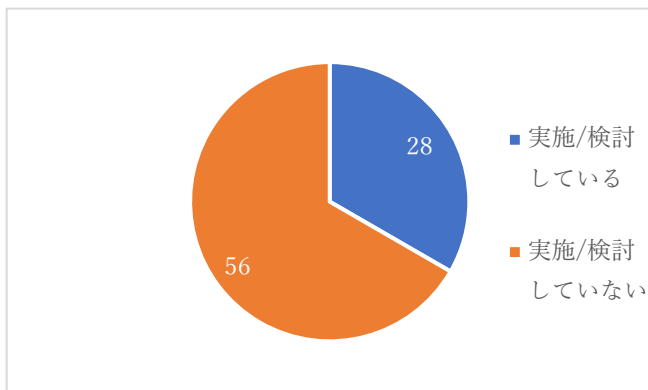


図 13 国際連携の実施/検討の有無

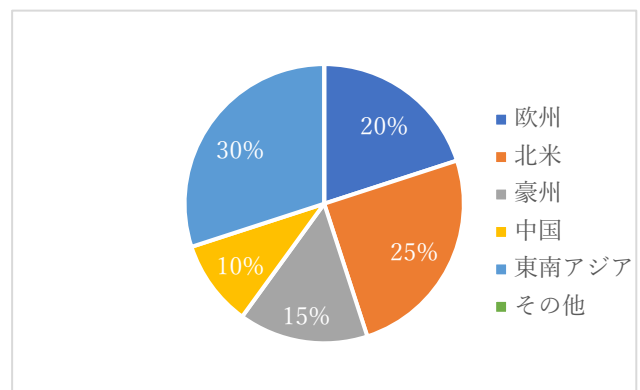


図 14 国際連携の実施/検討のエリア

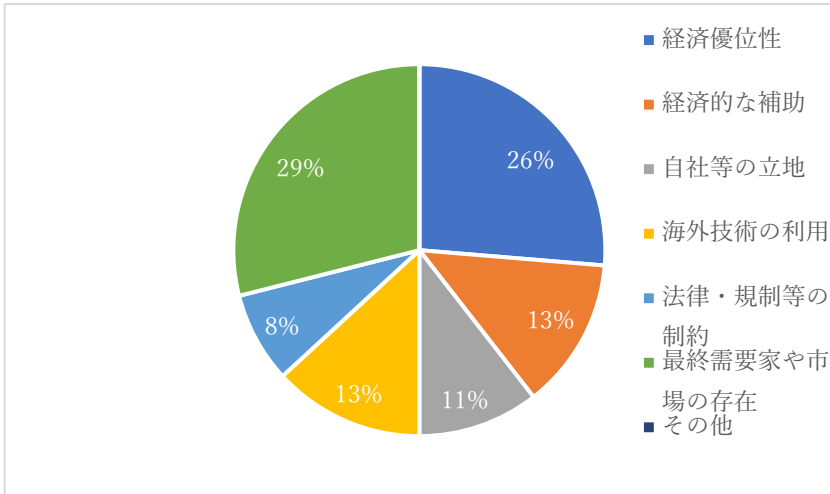


図 15 国際連携を実施/検討の事由

10. CRF ではカーボンリサイクル大学を毎年度開催するなど、人材育成にも力を入れています。人材育成面での意見を自由記述形式のアンケートを行った。主なコメントは以下のとおり。

<主な意見>

- ・カーボンリサイクル大学の人材育成面で良い取組みであり継続を願う
- ・一方、カーボンリサイクル大学の参加人数は限られており、研修会などの別企画で参加機会を増やしてほしい。
- ・企業人だけでなく、学生（小学校から大学まで様々な）向けも企画して欲しい
- ・カーボンリサイクル大学の参加する効果が見えにくく、参加申込みが出来ない

11. CRF の活動に対して 5 段階評価のアンケートを行うとともに、各活動についても評価を行った。また、CRF への意見等も自由記述でアンケートを行った。結果を図 16 及び主なコメントを示す。

・CRF 活動の 5 段階評価 3.98 （最大 5）

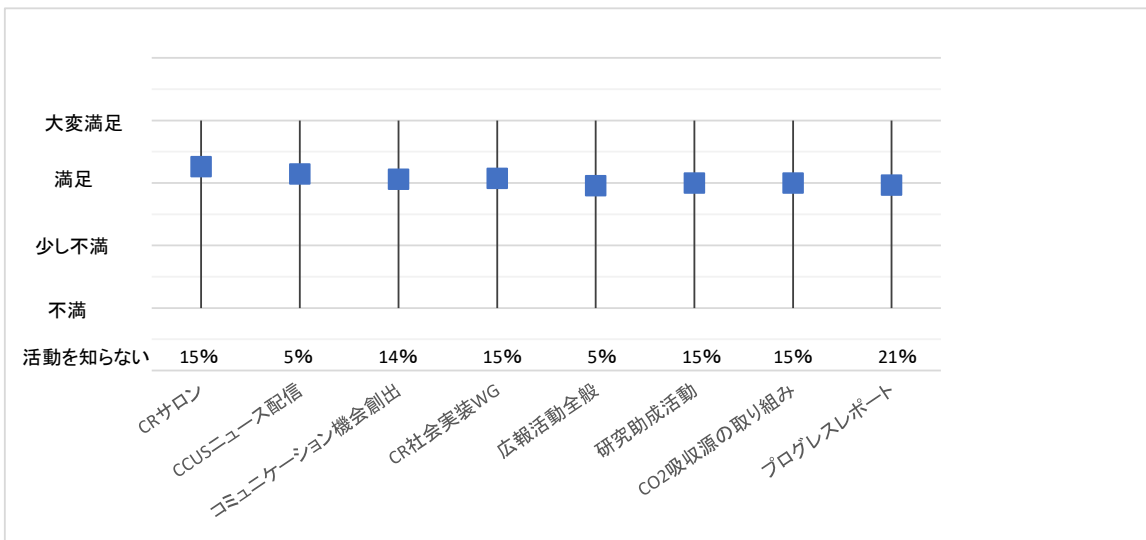


図 16 CRF 各活動に対する評価

<主なコメント>

- ・ e-fuel の実用化や商用化に向けて知見が深まるような情報提供が欲しい
- ・ 随時、講演や事例紹介にて自社活動を PR 頂きたい
- ・ CO2 吸収源、とくにブルーカーボンに関する講演などをお願いしたい
- ・ GX 移行債の知見を深められるようにしたい

以 上